

米国：亡命希望者の強制送還を停止



国外退去を免れたことを発表するテンドさん

ウガンダで牧師をしていたスティーブン・テンドさん（35 歳）は、政府に批判的な発言で当局から拘束や嫌がらせを受けていました。身の危険を感じて 2018 年 12 月、米国に渡り庇護を求めましたが拘束され、2021 年 2 月まで入国管理局の施設に拘禁されていました。新型コロナウイルス感染が蔓延する中、持病である糖尿病の治療も受けられず、体調を大きく崩す状態が続きました。

アムネスティは他団体と共にテンドさんの釈放を求めましたが、この活動が功を奏したのか昨年 2 月、テンドさんは釈放されました。自由の身になったテンドさんは難民申請の審査結果を待つ間、ホームレスの若者と共に、薬物依存症に悩む若者に寄り添うなどの支援活動をしています。

一方で庇護申請が認められない事態が続き、今年 11 月 15 日に強制送還されるおそれがありました。しかし、アムネスティなどの団体や個人による多くの働きかけが功を奏したのか、テンドさんは送還を免れることができました。入管職員と面会したテンドさんは、職員から「強制送還をしないことにした」と告げられたのです。入管事務所の外で待機していた支援者らにこの朗報を伝えると、支援者全員から拍手と歓声が起り、ハグも受けました。

テンドさんからアムネスティにメッセージが届きました。「皆さんの支援に本当に感謝します。皆さんに私の愛と心からの感謝を伝えてください」と。

長年、テンドさんを支援してくださったみなさん、ありがとうございました。

ジンバブエ：活動家の有罪判決を破棄



民主活動家マコンボレロ・ハルジヴィシエさんが暴力の扇動と逮捕時の抵抗の罪に問われていた裁判で、高等裁判所は 9 月 22 日、有罪判決を破棄する判決を言い渡しました。

2020 年 2 月にあったムナングワ大統領の退陣を求めるデモで、ハルジヴィシエさんが抗議する人たちに、警察への反乱にならないようにと警告として笛を鳴らしたことで拘束されました。ところが、昨年 4 月の裁判では、暴力の扇動と逮捕時の抵抗の罪で禁錮 3 年の有罪判決を受けました。

これに対する今回の高等裁判所の判断は、一審の有罪判決を破棄し無効とする画期的な判断でした。判決の言い渡し後、判事 2 人は「ハルジヴィシエさんに有罪判決を下していた判事は、根本的に方向性を誤った」と批判しました。

ただ、ハルジヴィシエさんは違法なデモ、違法な抗議活動、誘拐の 3 つの罪にも問われています。いずれも非暴力の活動に対するでっち上げられた容疑です。

ハルジヴィシエさんはその後出国し、現在は奨学金を受けてオランダに留学中ですが、ジンバブエ当局からは裁判への出廷拒否で逮捕状が出ています。

ハルジヴィシエさんはこれまでに 37 回も逮捕され、有罪判決を 2 回受けましたが、控訴審ではいずれも有罪判決が覆されています。政府に敵対する者への武器として訴追が利用されていると考えるハルジヴィシエさんは、今後も検察当局との闘いを続けるとのことです。アムネスティも、ハルジヴィシエさんのすべての容疑が晴れるまで、支援活動を続けます。

パレスチナ：人権派弁護士に続く行政拘禁



フランス系パレスチナ人弁護士のサラ・ハモウリさんは、エルサレムの居住資格を取り消されるなど長年、当局の嫌がらせを受けてきました。現在は、行政拘禁に置かれています。司法ではなく行政権限で自由を奪う行政拘禁では、起訴も裁判もなく、拘禁の根拠を告げられることもなく拘禁措置が何度も更新され、長時に拘禁されることが頻繁に起きています。

ハモウリさんは、ヨルダン川西岸地区にあるパレスチナ人権団体アッダミール囚人支援・人権協会の調査員もしています。アッダミールは昨年 10 月、イスラエル当局からテロ組織に指定されています。

7 月、ハモウリさんは警備が特に厳重な刑務所に移され、9 月に不当な行政拘禁に抗議するハンストを決行しました。その時、刑務所職員から「エルサレムを出てフランスに行くなら釈放してやる」などと告げられています。

アムネスティなどの人権団体の調査では、行政拘禁はイスラエルの占領政策に抗議する人びとへの処罰であることが明らかになっています。行政拘禁を受けている人の数は、アッダミールによると 10 月 10 日現在でパレスチナ立法府の議員を含むパレスチナ人約 800 人にのぼります。

■支援してください

イスラエル当局にハモウリさんの釈放を求めてください。要請文は、こちらの[ウェブサイト](#)（またはインターネットで「サラ・ハモウリさん」で検索）の例をご利用ください。支援へのご参加をお待ちしています。

アルジェリア：軍幹部の告発で有罪判決



当局の弾圧に抗議するデモへの参加や YouTube での軍高官の汚職告発で逮捕されるおそれがあった元軍将校のムハンマド・ベンフリーマさん（33 歳）は、2019 年 9 月にスペインに逃れました。昨年、本人不在のまま、死刑判決を言い渡されました。

その後、アルジェリアに強制送還されたベンフリーマさんは、9 月 4 日の裁判でテロ組織への参加、国家の連帯を損ねるフェイクニュース発信の罪で実刑 12 年の有罪判決を言い渡されました。裁判では、ベンフリーマさんは勾留中に軍関係者から何日も拷問を受けたと証言しています。この拷問が本当にあったのか、家族は当局に真実を明らかにするよう求めてきましたが、当局は応じていません。一方で国営放送は、ベンフリーマさんが「国家への陰謀の企ての容疑で勾留中に当局に受けた扱いに誤りはなかった」と自白する動画を放映しています。

■支援してください。

アルジェリア大統領にベンフリーマさんの釈放を求めてください。要請文は、こちらの[ウェブサイト](#)（またはインターネットで「ベンフリーマさん」で検索）の例をご利用ください。ご支援をお待ちしています。

UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F

TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778

E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費：1500 円

郵便振替：00120-9-133251

加入者名：公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本